



努力の必要条件

相変わらず2期制の続く千葉市では、秋休みの前に前期の終業式があり通知表も渡されました。思ったより良い成績だった人も、思い通りではなかった人も、中学生にはまた後期の中間テストがすぐにやってきます。勉強をちょっとサボっていたなと自覚している人はこれからまた頑張るしかありません。しかし、一生懸命にやったはずなのに成績が上がらない人は、その努力のしかたを一度見直してみてもはどうでしょうか。そのヒントになりそうなことが、社会人対象のビジネスについてのブログに載っていたので紹介します。まず、本人が「努力した」と思っている、それが必ずしも努力とは言えないことがよくあるという指摘です。では、努力に必要な条件とは何か？次の3つを満たしていなければ「単に頑張っているだけ」で正しい努力とはいえないそうです。

1 つめは「一番重要なこと」の発見。努力は常に「一番重要なこと」に対しての取り組みでなければいけない。「成果をあげるために最も重要な今やるべきことは何か？」をいつも考えなければ、無駄に時間と労力を費やしていることになる。2 つめは「確実な実行」。どれだけのことを「やるべきこと」として考え、どれだけを「実際にやりきった」のかをリストにして一目でわかるようにすること。3 つめは「成果が出ているかどうか」を自分で監視すること。その際①成果の定義は？②成果が出ているかの確認は？③成果が出ない時に原因を分析しているか？の3点をおさえることが肝心。

では生徒のみなさんが今度の中間テストに向けて努力するためにはどんなことが必要でしょうか。「とりあえず気合いで勉強しまくるぞ」だけではダメなのはわかりだと思えます。まず、ある程度時間が経って忘れてはいるはずの今、前期2回のテストの答案を冷静にもう一度見てみましょう。本当はできていたはずなのに間違えてしまったのは、どの科目のどんな問題だったでしょう。準備が不十分になりがちな科目や、間違えやすい思考のクセを見つけられたなら、それが「一番重要なこと」です。そこからが努力のスタートです！